
壁に染みあり

唐務新斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

壁に染みあり

【Nコード】

N87600

【作者名】

唐務新斗

【あらすじ】

すげえ可愛くて、おっぱいも大きいし、料理も美味いし、俺にはもったいないくらいの彼女はちょっとばかり勘が鋭かった。どんな感じだったかと言うとな、

なんだ、お前の部屋、随分きれいになってるんだな。ちょっと前まで、ごみ部屋だったのに。え、彼女が出来た、で、彼女がせっせと片付けてくれたと。そりやめでたいな。ふむ、隠していたエッチなDVDも処分されたのか、そりや隠し方が甘かったんだ。

そうそう俺の前の彼女は、ちょっと変わっていたよ。

すげえ可愛くて、おっぱいも大きいし、料理も美味しいし、言っちゃ何だけど俺にはもつたいたないくらいの彼女だったんだけどさ、ちよつとばかり勘が鋭かった。

カップラーメン食べた翌日に、インスタントラーメンなんか食うな、もつといいもの食えって俺の部屋に押しかけて料理作りに来たり、部屋の中でバイト仲間の女の子にメールしてると、彼女からもメールが来るんだよ、「他の女の子とあまりベタベタしないでね」ってさ。他にも、嚴重に隠していたエロ本をことごとく見つけれられて、廃品回収に出された時には泣きそうになったね。うん、だからお前の気持ちも分からんでもない。

それでも、俺は彼女のことを好きだったから、ちよつと喧嘩になってもすぐに仲直りして、付き合い続けていたんだ。

え、それがどうして分かれたんだって？

俺、一時ダーツに無茶苦茶はまって、やたら練習してた時があったんだよ。それで、ある時、ちよつとした弾みで手を滑らせて、的を大きく外れて壁に突き刺さったんだ。で、その針が突き刺さったところをよくよく見たら、壁に染みが出来ていたんだ。女の子の顔に見えないこともない染み、突き刺さっていたのは、その顔の右目のところのど真ん中。

で、その翌日さ。彼女の友達から、彼女が右目を怪我したって聞いたんだ。心配になって、携帯にかけても応答なし、メールをしたらたった一言。

「あんたみたいな乱暴者、もう知らない」

だってさ。誓って言うが、俺は彼女に手を上げたことは一度も無い。それなのに、なんでこんな言いがかりをつけられるのかさっぱり分からない。その後はずっと着信拒否されて自然消滅さ。

まあ、そんなわけで一方的に振られて、今じゃ彼女がどこでなにをしているのか、全然知らない。未練があるのかって？ いや、そんなことはない、かな。

なんだよ、にやにやして。だったらなんでそんな話を今更するのかって？

ただ、ふと思いついたんだよ。

お前の背中側の壁の右端に、その時の染みにそっくりな染みがついてるからさ。

(後書き)

これくらいの長さが一番気楽でいいなあ。すぐオチがつくし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8760o/>

壁に染みあり

2010年11月13日02時11分発行